

2003年9月の大気大循環と世界の天候

大気大循環

北半球500 hPa 高度では、極渦は平年より強く、西シベリア側に寄っていた。太平洋東部から大西洋にかけては等高線の蛇行が大きく、東シベリア付近には月を通してブロッキング高気圧が現れやすかった。また、ラブラドル半島付近では顕著な正偏差となり、大西洋の高緯度域からヨーロッパ、西シベリアにかけては帯状に正偏差域が分布した。一方、地中海から中央アジアは帯状に負偏差となった。

対流活動は、太平洋赤道域では、西部で平年より活発、中部で不活発、東部の ITCZ (熱帯収束帯) は平年に比べて北偏していた。アジアモンスーン域では、インド北部で平年よりかなり活発、南シナ海、フィリピンの東海上で平年より活発、一方、インド南部では平年より不活発となった。アジアモンスーン域の対流活動は全体に平年より活発で活発域は東に偏っていた。

200 hPa 速度ポテンシャルの分布図では、フィリピン付近の大規模発散の中心は平年に比べて5度程度東に偏っていた。

SOI (南方振動指数) は-0.1で、今年の7月以降、平年並で推移している。

世界の天候

①東シベリア東部の高温

東シベリアの Ilirnej では、月平均気温が4.9°Cで、平年より3.9°C高かった。

②華北から華中の多雨

8月末から9月初めの集中豪雨でシャンシー(陝西省)で70人以上の死者・行方不明者が伝えられた。南京では月降水量が191 mm で平年の222%となった。

③南西諸島から中国東部の高温

④ヨーロッパ中部の少雨

⑤カナダ東部からグリーンランドの高温

カナダ東部のグースでは、月平均気温が14.7°Cで、平年より5.5°C高かった。

⑥カリブ海周辺の高温

⑦ミクロネシア西部からパプアニューギニアの多雨

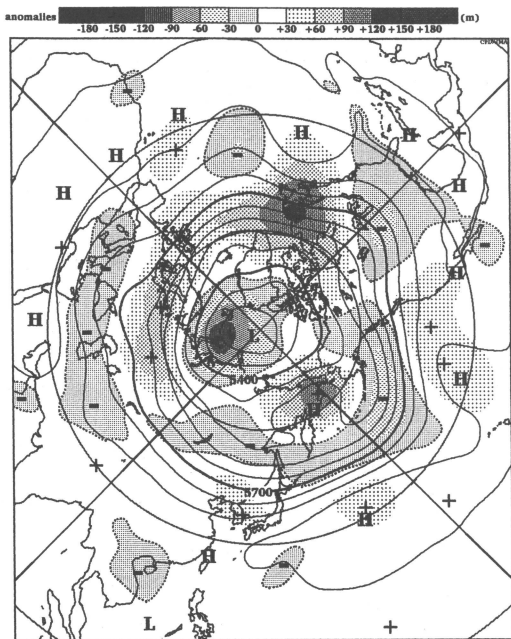
パプアニューギニアのマダンでは月降水量が374 mm で、平年の315%となった。

⑧オーストラリア東部・メラネシア東部の少雨

フィジーのナンディでは月降水量が2 mm で、平年の3%となった。

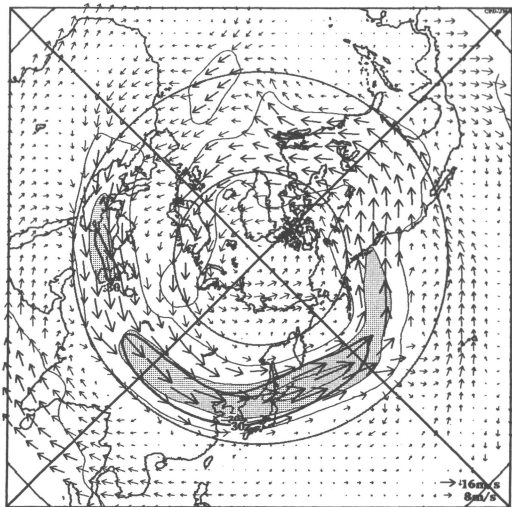
⑨ニュージーランドの多雨

(気象庁気候・海洋気象部気候情報課 中村理恵)



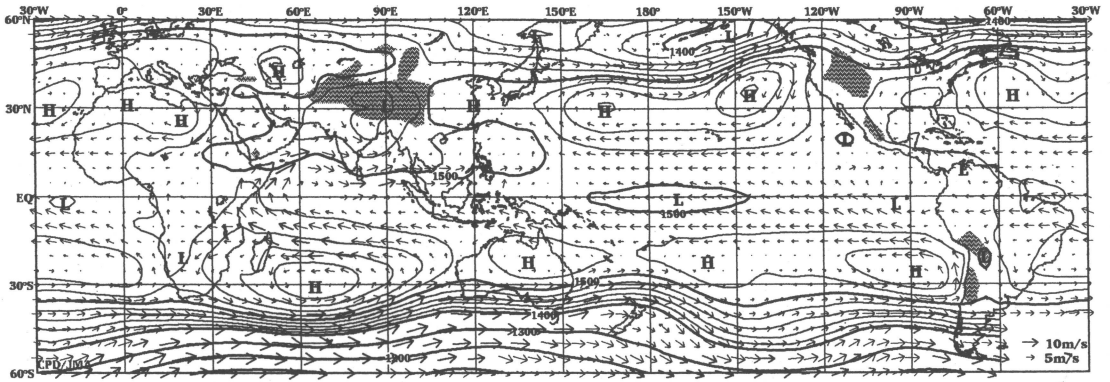
2003年9月の北半球月平均500 hPa 高度および平年偏差

等値線間隔は60 m, 偏差パターン間隔は30 m. 平年値は1979~1993年のECMWF15年再解析データによる。

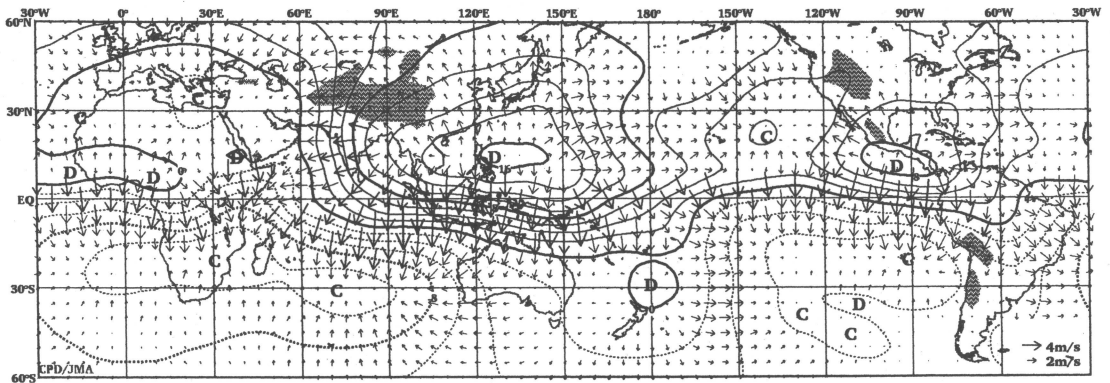


2003年9月の北半球月平均200 hPa 風速および風ベクトル

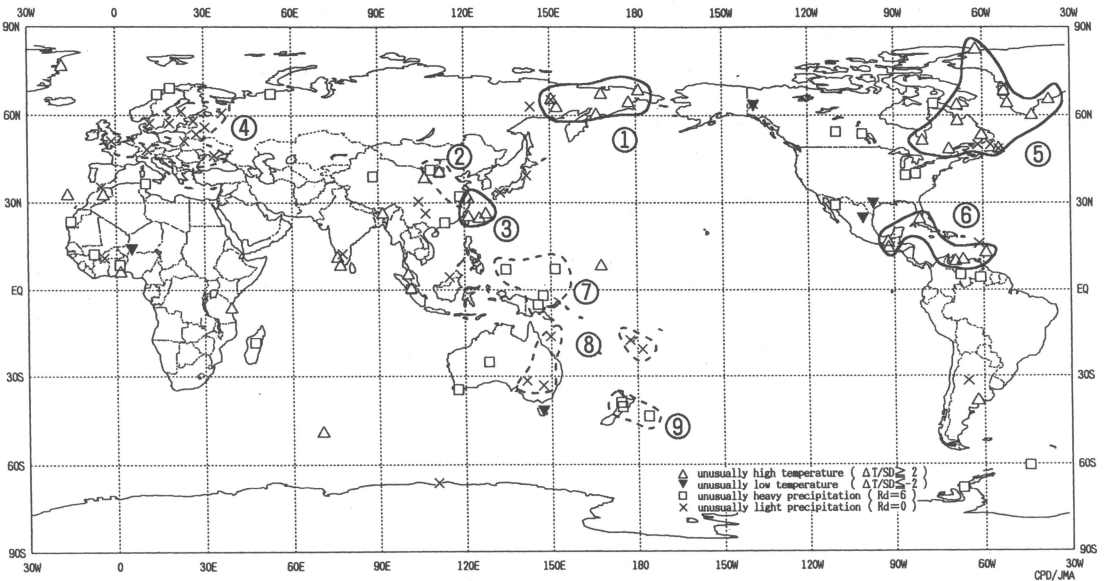
等値線間隔は15 m/s. 陰影部は30 m/s以上. 太実線で囲まれた領域は平年の30 m/s以上の領域を示す. 平年値は1979~1993年のECMWF15年再解析データによる。



2003年9月の月平均850 hPa高度及び風ベクトル 等値線間隔は20 m (1400 mまでは100 m)



2003年9月の月平均200 hPa速度ポテンシャルおよび発散風ベクトル 等値線間隔は $2 \times 10^6 \text{ m}^2/\text{s}$



2003年9月の世界の異常天候分布図 △異常高温 ▼異常低温 □異常多雨 ×異常少雨
 異常高温・低温は標準偏差の2倍以上, 異常多雨・少雨は降水5分位値が6および0. 図中の番号は本文中の番号と対応している.